ちばニュース

2012年11月号



強風に負けず 被災地への想いを歌った 「ちば労山ゆう」の仲間



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年11月1日発行 通巻235号(毎月1回発行)

さあ! 冬山シーズン到来

準備万端!無事故で行こう!!

目 次

•	目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
•	11月号花博士の花だより・・・・・・・・・・・・・・・・3
•	石巻支援の夕べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
•	ワンコイン講習会の案内・・・・・・・・・・・・・・・5
•	事故防止経験交流集会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
•	支援活動報告 (長池 康雄・平井 昭)・・・・・・・・・・・・7
•	支援バスハイク・安達太良山 (平井 昭)・・・・・・・・・・・10
•	支援バスハイク参加お礼 (吉田 哲治)・・・・・・・・・・・12
•	東日本女性登山集会参加報告 (桐生 千恵子)・・・・・・・・・13
•	ハイキング委員会報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・15
•	郡界尾根縦走案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
•	ROUSANパートナーズ・・・・・・・・・・・・・18
•	県連たより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
•	10月・11月予定表 ・・・・・・・・・・・・・・・・20

表 紙 説 明

NPO法人「ちば労山ゆう」を立ち上げて6ヶ月、一つの目標であった 東北の山へのバスハイクが実施出来た。

現地は強風でロープ・ウェーも運行されず、風雨も強くなったため登山は中止した。雨具を着て輪になって、黙とうをして鎮魂歌は歌うことが出来た。 (詳細は、本誌10ページに掲載)

花博士の花便り

中原 紀代治(ふわくハイキングサークル)

10 月中旬、私の散歩道では、十月桜が満開です。野草の多い金剛地に観察に行きました。今年夏は、雨が少なく9月に咲く花が残っていました。

彼岸花は終り、キバナアキギリ、ヤクシソウ、シラヤマギク、アキノタムラソウ、 珍しいコシオガマが山際に咲いていました。イヌタデの赤い花が咲き休耕田には(同 属のミゾソバ、アキノウナギツカミ、のコンペイトウみたいな花が群生し満開でした。

ミゾソバ(タデ科イヌタデ属)は葉の形からは、"牛の額"とも呼ばれます、ソバの花に似ていて、溝の側に咲く花が名前の由来です。花弁は無く白色に薄紅色の部分はガクです、群落はソバ畑を連想します。

アキノウナギツカミは、ウナギを掴めるくらいトゲが多いので銘銘されたようです 葉の形は細長く茎を抱くように付いています。茎にはトゲが有りますが葉は小さく、 トゲはなくウナギは掴めそうでは有りませんでした。溝の側に多くあり溝でウナギを 捕まえ時に近くの草で咄嗟に掴んで上手く掴めたのか?私の想像です。子供の頃に、 カボチャの葉が大きくてザラザラが多いので、ウナギを掴んだ記憶が有ります。

この花の同属に面白い名前のママコノシリヌグイがあり1本見つけました。同じようにコンペイトウに似た花が、蔓状の茎の枝先に咲きます。茎には多くトゲがあり、葉は、三角です。昔は野外で紙の代わりに草や木の葉で、お尻を拭きました。継母がこの葉で"継子の尻を拭いた"継子いじめの例えに使われた可愛そうな花の名前です。だがよく観察すると茎や葉の裏は、トゲで一杯ですが葉の表ではお尻が拭けそうでした。逆にこの草の葉を摘み取るには、継母の手にトゲが刺さりそうです、植物の名前は、面白いですね。



被災地に届けよう、仲間への想いと励ましの歌

東日本大震災複響支援

石巻支援の夕へ

一被災地への想いを歌おう一

2012年11月29日(木)

19:00 開演 (18:30 開場)

第1部

宮城・石巻の被災状況と現状報告 DVD 上映報告者: 岡 良一氏(石巻勤労者山岳会前会長)

第2部

コンサート&歌声 矢口 清志氏 (石巻在住、東北山々の歌など作詩作曲多数) 糸賀 民夫氏 (戸隠・音楽ロッジ「アコールデ」オーナー、相模労山 OB)

会場

市民文化創造館・きららホール JR 船橋駅前フェイスビル 6 階

入場料:1000円 (中学生以下は500円)

チケット取扱所 ヨシキスポーツ (習志野市谷津 1-13-17 047-470-8090)

後援:船橋市

ヨシキスポーツ



チケットのお問い合わせ、お申し込みは

tidac

☎ 090-6943-5461 角掛

☎ 090-7631-4837 佐藤

主催:NPO法人ちば労山ゆう 千葉県勤労者山岳連盟

第6回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

体に優しい トレーニング



実施日 H24年11月18日(日)13時~16時

場 所 船橋市中央公民館 第 1 和室 (J R 総武線船橋駅下車)

参加費 ワンコイン (500円)

講師 荒井 美穂 先生

問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

講師紹介

- ・ セントラルスポーツ・看板インストラクターとして活躍中です。
- ・ 最新のトレーニング法で、初心者からアスリートまで、幅広く 指導し、信頼を得ています。
- ・ 個々の悩み、希望に親切、ていねいに応えてくれます。

ワンコイン講習会とは

女性委員会では、いつまでも山に行ける体力を維持するために 「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習を行なっています。 今回は6回目になります。毎回、好評の講習会です。 大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

「2012 事故防止・経験交流集会」

千葉県勤労者連盟·教育遭難対策委員会

本年も当連盟各会で、多様な遭難事故が発生しています。

引き続き各会で事故防止へ向けての対策をお願いしなければなりません。

09年より取り組んできた本集会も4年目を迎えますが、その内容を更に充実させるべく、下記の内容にて開催します。 また、本年は当連盟の多数を占める中高年層を対象として、「体力の維持にどう取り組むか」をテーマとした講習と実習を予定しておりますので、各会会員の積極的な参加を期待します。



- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会/協力:千葉県連救助隊
- 2) 日時/場所 11/10 (土) 12:30<12:00 受付開始>-11 (日) 12:00 終了 船橋県民の森 さざんかの家(宿泊研修棟)
- 3) 内容 11/10 ①各会より事故防止取り組み報告 5団体予定 12:30~14:30
 - *事故発生各会を中心に、事故の詳細報告<現地での応急処置等を含む>を頂き、加えて再発防止への取組み報告を願う。 岳人あびこ ちば山の会 ふわくハイキングサークル 船橋勤労者山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 他 報告 15 分+質疑 5 分
 - ②机上講習/実技:「登山寿命を延ばすための筋トレ効果」 講師:石田 良恵氏(女子美術大学名誉教授・保健学博士) 参考テキスト:「山筋ゴーゴー体操」(全国連盟女性委員会編集)

当日会場にても販売予定 15:00~17:30

③夕食/各会紹介/交流会 18:00~21:00

1 1 / 1 1 ①セルフレスキュー訓練: 県連救助隊 8:15~11:45 一般ハイキング向け<搬出法他>

(必要装備:7点セット=スリング 60cm2 本 120cm1 本 カラビナ2 環付き1 補助ロープ $6\sim8mm*10m$)

- 4) 参加費 参加費500円/人。交通は各会毎に。駐車場有り。単日での参加可。
- 5)装備/食事 装備(宿泊用):シュラフ ヘッドランプ 食器。食事/飲み物は各会毎。
- 6) 参加申込/締切 教育遭対委員会 青山へ 11/2 までに。 httkt490@ybb.ne.jp
 申込書は追って mail で送付。
- 7) 問い合せ先 教育遭対委員会 岡田: ken-ichi@f4.dion.ne.jp 080-4197-7700

「ちば労山ゆう」災害支援報告(10月)

ちば山の会 長池康雄

期日 H24.10/5 夜~10/8

いままでの谷川浜の「ホヤ養殖」への支援作業は、ホヤの卵を着床させる牡蠣殻の選別、穴あけ、紐通し作業だった。今回は、それを海中に1年ほど投入したあと、いったん引揚げて生長を阻害するムラサキ貝を除去し、卵が着生した牡蠣殻を長さ 10 mほどの撚り綱に 30 c m間隔で撚糸間に挟み込む作業で、これを終えると桟橋から小舟に乗せて沖合に運ばれ筏に吊るされて $2\sim3$ 年ほど育成されるとホヤ卵は 20 c m

もの大玉に成長するのだそ うだ。

牡蠣殻の背面にフジツボ 状の赤い卵が可愛い姿でしっかりと着生している。この 挟み込み作業の間、敏感なホヤ卵は長い時間空中に晒されると死んでしまうので、作業の段階ごと、海水をモーターで汲み上げた大きな水槽に出し入れしながら作業を進めていく。牡蠣殻に着生し



たのはホヤ卵だけではない、強く根を張ったムラサキ貝、名も知らぬ小魚、小蟹、小海老、多足のゴカイなど慌ててワラワラと飛び出してくる。びっしりとついたムラサキ貝をブチブチと引き剥がして、ホヤの卵が成長していく棲み家を整えてあげるのだ。

作業は桟橋近くに張ったホワイトハウス?(大きな白い化繊テント)の中で行われるのだが、若旦那と奥さんとその息子(次男坊)さん、それに一族のおばさん、加えて我々4人組。手早い若旦那の手捌きに圧倒されながら、しかし徐々に、着実に、その捌きのスピードをアップしていく。みんなのがんばりで、用意された牡蠣殻は夕方までに全て捌き終え、若旦那は、震災で陥没したために1.5mほどふかしあげた桟橋の小舟に運び、海中に吊りこむために薄暮の港を出て岬を回って行く。

翌日は一転、中学校の体育館に積まれたホヤ吊り縄の作成作業だ。

10mほどの吊り縄の両端へコブを作り、その片端へ2mの細めの黒い固定紐を結束し全体を "輪っか" に丸める作業で、ホヤ卵貝の挟み込みに使われる。

震災で主のいなくなった体育館の壁には、校歌の文字が浮き彫りされた大きな額と、体育の心構えが記されたこれもまた大きな額と、隅には祭り太鼓と小太鼓とそのバチが残されていて、平穏な時の子供たちの歓声や、祭りにワッセイ、ワッセイと蛮声をあげる漁師町の大人達の賑わいが蘇ってくるようだ。



いまは、裏庭に仮設住宅が建てられており、ちょうどお住まいのご老人たちが庭に集って昼時のうたげを楽しもうとしていて、我々の緑のチョッキを見て"おお、ボランティアさんだ。ごくろうさま~"と言われてなんだか嬉しくなってきた。

ひところ、森閑とした仮設住 宅で"電気を直して"と、呼ば

れたおばあさんの家に入ってその簡素な佇まいに胸が重くなった思いがしたことと 比べると、仮住まいのなかにも少しは落着きと楽しみの工夫が広がってきているのか なと、ほっとする温みを感ずることができた。

かがりび山の会 平井昭

牡鹿半島の谷川浜の漁業支援も今回で3回目。ホヤの種付け作業が主な仕事。今回は そのほかに、新しい仕事として半年前に海に投入され、種付けされた牡蠣殻を、新しい綱に 付け替え、新たな成長過程を過ごす作業が加わった。

牡蠣の殻に20~30のホヤの種が付着し、付け替えた殻が最初のままだと成長するにつれ間隔が狭まり過ぎて成長が止まってしまう。 種付けの時は、間隔を空けずにびっしり詰めて縄に通すのですが、種がついた後は間隔を 30~35 cmに取り、ホヤの成長がし易いように、本格的養殖に移行。

海に牡蠣殻を吊るして、そのまま置けば 2 年半後に収穫。と字に書けばその通りなのだが、今回 3 度目になる手伝いを通して感じた事は、生半な事では無かった。種付けの 9 割を牡鹿半島で行い、成長したホヤの 7 割を宮城県から出荷するのだが、その殆どを津波に流され、陸での作業所、海の筏、筏に吊られたホヤが消失。勿論船も消失。そのどれもが少なくとも 10 年は使えるものが、一切合財無くなってしまい、すべてが一から始まっての養殖漁業。牡蠣の殻は、身を取った後の再利用だからダンプの運搬費用位の物ですが、仮設の作業場のビニールハウス、牡蠣殻を結ぶロープ、種付け・養殖する為の筏、何百万や一千万を軽く超える先行投資。きっちり資材を仕舞って有る現場が有れば、無造作に百万もするロープが外からは見えないが、鍵も掛けずに作業所に転がっている現場も有り、それぞれの人柄も違うが、被災を受けた状況は何処も変わらない。 130 人の集落で、25 人が未だ行方不明。今までの現場は何処も家を消失したものの、人的被害は無かった。だからこそ頑張れるのかもしれないし、却って手伝いにいた者が、現地の人の笑顔に、元気を貰ってくる場合も有り、仮設市場の食堂のおばちゃんに、元気を貰い、美味しく安い飯を提供して貰った。感謝!

現場が一回ごとに違った瓦礫の処理現場、その多くの田畑は、人手が無く放置され草ぼうぼうの状況。当然その土地の所有者とも顔は会わさず、一回だけ地震の後の台風の被害で家が流されそうになった、家の裏手の川の修復。その時もその家の爺さんに直接、手作りの干し柿を振る舞われ、感謝の笑顔に元気を貰った。田畑の修復は何よりも大事な事だが、人手が無く草ぼうぼうの状況は却って力を奪われていく。一番欲しい処に、適宜なヘルパー、そんなNPOの方向が見えてきた。長く継続して行く為には、人の温かみが伝わる、笑顔が自然に掛けあえるボランテアの方が、お互いに理解でき、身内同士の信身の付き合える、新しい支援の仕方が出来るのではないだろうか?

今月は19名の参加だった。当初10名のバスとかがりびからの1台で15名の参加だった。 それが前日になって、ちば山の1台4名の参加で19人になった。11月は勤労感謝の三連休。たぶん一台20人乗りのバスが出るようです。又、新たな出会いがあるかもしれません。 一人でも多くの参加を、そして体験を望んでいます。



11月の災害支援

11月22日(木)夜~25日(日)前夜発2泊3日です。船山の岩本君の運転でマイクロバスが出ますので、会より一人での参加も歓迎です。バスの集合は22日(木)21時、新鎌ヶ谷駅の予定です。上記牡鹿・谷川浜におけるホヤ種付けの準備作業を予定していますが、現地における作業の進捗状況により、他の地域、他の作業になる場合もあります。

ご協力よろしくお願いいたします。

参加いただける方は吉田まで連絡ください。

吉田哲治 tetsu195715@aol.com 090-1406-5008

安達太良山バスハイク

~3.11 に手向ける 89 人の黙祷と鎮魂歌~

「ちば労山ゆう」監事 平井 昭(かがりび山の会)

千葉と松戸から二台のバスに分乗して安達太良高原スキー場で合流し、ゴンドラで 山頂駅まで上がり、山頂駅から山頂直下の広場まで歩き 90 人からの黙祷と鎮魂歌「花 は咲く」と「故郷」を歌う予定で企画されました。しかし、当日の安達太良山は強風 が吹き荒れ、朝からゴンドラの運転が休止されていた。

時折小雨が大雨に変わる悪天候で、山頂は無理でも、智恵子の銅像があるゴンドラ山頂駅まで歩き、その広場で「黙祷」と鎮魂歌を捧げようと、計画を変更して駐車場から、班ごとに分かれ隊列を組んで出発した。歩行時間 30 分位で理事長から中止指令が出てゴンドラ山麓駅手前の広場まで戻る。雨、風が強くなり泥道が益々ぬかり滑りやすくなり、子供 5 人を含めた 80 人強の人数で、長く伸びたパーテイでは、不測の事態も発生しやすく、賢明な判断だった。

その後、山麓駅手前の広場で、1分間の黙とうと鎮魂歌(花は咲く)を被災地に思いを馳せて参加者全員で斉唱を行った。

当初は、山頂直下の広場で、どんぴしゃの紅葉に包まれた中でのセレモニーを実施する予定であった。悪天候でゴンドラが動かず、スキー場はかなりの高さにあり平地よりは、天に近く「90人からの想いが一つになって」願いは届いたと計画者としては思いたい。

これは、参加者の皆さんも同じ思いだろう。

又、黙祷と鎮魂歌を歌う事に賛同をいただいた、90 名からの想いは目に見えないけれど、参加した一人一人に何等かの大きな力を与えてくれた事だろうと思う。

一人、一人の力は小さいが 10 人の力は大きい。それが 90 人にまとまれば更に大きな力を発揮できる。被災者への想いも同じではないでしょうか?一人の想いは小さくても、10 人の同じ想いは一人の10倍も大きいのでは?ましてや90人からの想いは、天に届いたのではないでしょうか?



自然相手に登山をする会・クラブに属している 一人一人だから、今回の様な悪天の中での登山は 経験されている事と思います。山の女神は気まぐ れ、里はそよ風山は嵐。

今回、往きは渋滞が全く無く、順調過ぎて怖い位でした。ところが現地は悪天でゴンドラは動かず、 悪路になった山道、風雨が強くなってくる状況では 90 人からの団体行動は、ますます悪い状況 に成りかねず、大事になる前に中止にしました。

山の会としての判断で、未然に事故を防止するために取った行動です。帰りは時間が短縮された分、温泉に入ってから帰ると云うプランも有りましたが、福島で現地のお土産を買う事で支援をしようと温泉は取りやめて、道の駅「つち湯」でお土産を買い、岩魚の塩焼きにかぶりついて被災地の復興に協力出来た。



帰路は、道の駅「つち湯」を松戸組は1:20 に出発、千葉組は2:00 時に出発した。 松戸組は、東北道~北関東自動車道~常磐道南流山で下車、松戸駅に8時過ぎに到着 し解散。およそ7時間の大渋滞に巻き込まれた道中に成りました。

千葉組は、車両事故の3連発と紅葉見物が重なり大渋滞の中、わき合いあいとお喋りを楽しみ、悪天候に負けずに歌った鎮魂歌「花は咲く」をBGMにして、その余韻につかり21時にはJR千葉駅前に戻ることが出来ました。

今後もこの様な企画を実施していきます。今回の反省を生かし県連盟の仲間と共に 楽しく支援活動に取り組んで行きたいと思います。

参加された皆様の寛容と忍耐、そして温かいご支援に感謝申し上げます。

最後に、この取り組みに賛同しバス 2 台・89 名の参加者を組織してくれた各会の 代表の皆さん、そして当日の山行リーダーを引受けてくれた方々のご協力にお礼を申 し上げます。

NPO法人「ちば労山ゆう」は、息の長い支援活動を実行するために立ち上げました。 被災地での支援活動は、皆様の参加協力で引き続き実施していきます。被災地の復興 の現状は、地域、被災状況で様々です。現地の状況を把握し、適切な支援活動を実施 していきます。

引き続き参加ご協力をお願いします。

財政活動にご協力いただき、ありがとうございました。

バスの中で、トロロ昆布の販売を行いました。60袋のご協力をいただきました。 昨年5月より販売を始め1年間で、20万円を「ちば労山ゆう」に寄付すること が出来ました。引き続き、「ゆう」の財政活動として実施して行きます。 今後も、ご協力をお願いします。

安達太良山バスハイク報告

~3.11 に手向ける89人の黙祷と鎮魂歌~ 2012年10月21日(日)

NPO ちば労山ゆう理事長 吉田哲治

「届け被災者へ 福島へ! 鎮魂の歌!」

原発事故により故郷を追われ、今尚帰還の見通しもたたず、日々悩み、苦しんでおられる福島の 方々へ、少しでも寄り添う気持ちを伝えたい、との想いで企画した安達太良山ハイクでしたが、残念 ながら、当日は強風によりゴンドラは止まり、悪天のためハイキングはできませんでした。それでも、ゴ ンドラ麓駅近くでの、89 名全員による鎮魂歌は、福島の方へ、東日本大震災により亡くなられた全て の方へ、我々の想いを伝えることができたと思います。

NPO として初めて企画した鎮魂ハイクでしたので、バスの手配、非常時の対応等至らぬところは 多々あったかと思います。福島への想いを強く持ちすぎたために、場所や時期の選定など、反省す べき点が多くありました。主催者を代表しましてお詫び申し上げます。

今後も、福島を始め被災者に寄り添う支援、被災地の復旧・復興へ向けて、微力ながらも活動を 続けていきますので、ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

尚、今回の鎮魂バスハイクにおいて、166,190 円の剰余がでました。これもひとえに多くのご参加・ ご協力をいただいた結果です。今後の被災地支援への貴重な活動資金として使わせていただきま す。ありがとうございました。

東日本大震災復興支援

石巻支援の夕べ のご案内

千葉県連は、昨年4月より石巻市を中心に被災地に支援活動を実施しています。 石巻の支援活動でお世話になっている、岡 良一氏の現地報告を聞いて下さい。 そして信じられない光景を映像で見て下さい。

「安達太良山バスハイク」届け被災者へ 福島へ! 鎮魂の歌! につづいて 「石巻支援の夕べ」被災地への想いを歌おう を実施します。

この企画は

- 被災地を見ていない方に、石巻の被災状況と現状を伝えよう。
- 東北の山々の歌・震災の鎮魂歌を、石巻から全国に届けよう。

を、目標に取り組んでいます。

現地からの訴え・報告をしっかり受け止めて下さい。

☆ 11月29日(木) 19時開演入場料1000円(中学生以下・半額)会場「きららホール」JR船橋駅前フェイスビル6階

★ 問い合わせ先 : 吉田 哲治 Eメール tetsu195715@aol.com

広木 国昭 E メール danphiro@zpost.plala.or.jp

第12回東日本女性登山集会に参加

東葛山の会 桐生千恵子

2012年10月13日(土)~14日(日)

千葉県参加者:16名 (茂原道標の会 1名)(こまくさハイキンククラブ 6名) (東葛山の会 9名)

会場は山形県最上町の赤倉温泉。新幹線から陸羽東線に乗り換えてようやく到着したのは12時過ぎ。開会は13時オープニングコンサートで始まった。挨拶は山形県実行委員長、最上町町長、労山女性委員長と続き、講演会が始まった。参加者は200名を超していると聞いた。座ったのが後方だったので講演の話が聞きにくく少し残念でした。(耳が遠くなったのかな?)

休憩をはさんで、ワンコイン講習会でお世話になった石田良恵先生の「山筋ゴーの指導で体を動かした。他県の大きもペアーになり、今知り合ったばかりの人達もはみんったばかりの人達はみんな同じで、「いつまでも元ゴーな同じで、「いつまゴーな同に登りたい」とゴーシーに登りたい」ともう参加を関いました。もう参加者はバッチリですよね〜。



藤本労山女性委員長の挨拶

18時30分から夕食。そして交流会が始まった。各県が順番に紹介され合唱する県、お国自慢の踊りを披露する県、それぞれ飛び入り歓迎です。千葉県連は美代子さんの挨拶と『こまくさハイキングクラブ』の『会の歌』で、それこそ即興です。

震災に遭われた宮城県、岩手県からは仮設住宅に住まわれている方達も参加され、 山仲間がいることに力をもらっていると語った。もちろん労山のボランティアに感謝 の言葉もあった。ボランティアで顔見知りになった方たちの再開に涙ウルウルの場面 も見うけられた。

時間が足らない交流会ですが、各県がおみやげに持参した日本酒やワインなどが並べられて、セルフで飲み放題です。

千葉県連は「千葉の梨」を持っていきました。デザートに切って出されましたよ。

明朝は早い出発です。千葉県連は健脚コースの神室山に参加です。あべ旅館から宿泊する「湯の原」旅館にバスで移動しました。

宿を4時出発。各旅館を回り登山口に着いたのは5時半頃かな。神室山コースには60数名の参加です。山案内は「最上町東法田山愛会」の方々でした。最上町挙げての応援です。



まだ暗い登山口に到着。歩きだしはヘッドランプのいらなくなった 6 時少し前でした。1合目から急登になるが、大所帯なので待ち時間があり、息が上がらずに歩ける。千葉労山は C グループと D グループに別れた。D グループは東葛だけのグループで私は最後を歩いた。後ろに最上町の方がついてくれたので、周りの山を教えてもらったりして楽しく歩かせてもらった。3合目からは比較的なだらかな登山道でブナ林が美しく、又紅葉も始まっていた。

半分の 5 合目に 7 時 35 分着。9 時 30 分頃山頂に到着。展望バッチ リ!!

東北の山々の真ん中で、山を眺めながらのおにぎりは美味しかったね~。30分のランチタイム後下山。「気を引き締めて」を合言葉に、皆無事に予定の時間に下山できました。

全てに感謝です。



「神室山山頂」で千葉労山の仲間

2012 年度 第四回ハイキング委員会 10月16日 県連事務所

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、山本、小山、天野、中原、高見、佐藤、 10名 議題

1、第28回 房総ロングハイキング

2013年1月26日(土)27日(日)に決定。七里川温泉予約済。 コース検討

第1案 石尊山〜麻綿原より先を(安房天津駅までの硯石コースに変更) コース途中危険個所あり、多勢の場合無理の指摘有り下見の上決定 下見 日時12月4日(火)9:30 清澄寺・東大宿舎前駐車場 集合 第2案 石尊山〜麻綿原〜清澄寺〜郷台林道〜折木沢黒滝〜長崎十字路 東葛地区バス組 前日の山行の場所。

伊予ヶ岳(富山側から山頂~平群神社)・雨天富山水仙ロード 上記 決定次第行程を検討して作成・配布・ちばニュース掲載 各会にて募集開始・12月委員会で人数決定する。

2、 ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル (山への想い) 雑感 原稿掲載の順番

7月小川、10月加藤、11月桑原、12月小山、1月八巻、2月大田、3月小川、4月天野、5月吉澤、6月高見、7月佐川、8月中原、9月山本、10月佐藤、(未投稿の方・有無連絡願います)

前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。 ※未投稿の方、遅れても必ず投稿お願いします。

3、 次回平日山行検討

日時 5~6月 花の時期 (レンゲつつじ) 場所 前日光 古峯ヶ原(こぶがはら)高原 (検討して実施、決定) その他 県連行事

- 1) NPO 鎮魂バスハイク 10/21(日)安達太良山 大型バス2台 94名
- 2) 関東ブロック自然保護担当者交流集会 IN 鴨川 東大演習林宿舎 10/27,28
- 3) 2012 事故防止・経験交流集会 IN さざんかの家 11/10,11 募集
- 4) 女性委員会 ワンコイン講習会 IN 船橋中央公民館 11/18(日)
- 5) NPO 石巻支援のタベ IN 船橋市民文化公民館 11/29 (木) 募集 個人山行 「ヤマトモ」発足:「ROUSAN パートナーズ」登録してみよう

次回委員会 2012 年 12 月 11 日 (火) 19::00 県連事務所

第12回房総郡界尾根縦走案内

(房総丘陵の景観を楽しむロングコース)

平成24年11月吉日

冬は房総の深山を歩く最高の季節です。照葉樹から針葉樹の林まで育つ房総丘陵は暖かく豊な自然を見せてくれます。郡界の稜線から深い森と太平洋の大海原が眺められます。安房と上総をつなぐ史跡が残る房総郡界尾根(約60km)を3日間かけて歩きましょう。

記

- ・日 程 平成25年1月12日(土)~14日(月・休日)
- •集合場所 浜金谷駅前

(千葉駅 JR 内房線 6:57 発館山行に乗車して浜金谷駅下車、県外の方は別紙参照願います。)

•集合時間 8時25分(時間厳守)

- ・コース
 - 12 日 金谷(8:50 スタート) → 鋸山 → 嵯峨山 → 山中(テント泊)
 - 13 日 山中(8:00) → 木ノ根峠 → 横尾林道 → 尚武山 →柚ノ木林道 → 小町峰峠 → 鴨川(テント泊)
 - 14 日 鴨川(8:00) → 元清澄山 → 郷台林道 → 清澄(15:00 頃ゴール) (清澄からは自費にて バス又はタクシーで安房天津駅へ →18:10 頃千葉駅)
- ・参加費 <u>6,500 円</u>(事務費、サポート費等、食材費(12 日夕、13 日朝・昼・夕、14 日朝・昼として 3,000 円含む))
- ・装備等 雨具、防寒衣、食料(12 日昼と 3 日間の行 動食)、手袋、笛、着替え、帽子、水筒(ペットボトル可)、コッヘル(お椀 2 コ可)、カッ プ、箸、ヘッドライト、洗面具、エアーマット、シュラフ、銀マット、地図、常備薬、嗜好品等
- · 募集人数 30名
- ・留意事項 ・参加は1日でも可(但し車にての参加に限る)
 - ・参加者は必ず所属会に登山届を出して許可を得てください。
 - ・テント、鍋、ランタン等の共同装備の提供をお願いします。
 - ・縦走途中で水の補給はありません (スタート時と山中では補給可)のでペット ボトル 1.5 リットル程度準備願います。最終日は有料にて手配できます。
 - ・ロングなので、参加者は日頃からトレーニングを続けて参加してください。
- ・申込締切 12月15日迄 所属会名・住所・tel・緊急連絡先・協力できる共同装備 等を記入して、<u>往復はがき</u>または<u>メール</u>にて相馬へ

往復はがきの場合 〒299-0261 袖ケ浦市福王台 3-3-17 相馬行雄 メールの場合 sumire_no34@jcom. home. ne. jp

・その他 地図 2万5千分の1 {保田・金東・鴨川・坂畑・上総中野・安房小湊}

以上

(企画者:ふわくHC 相馬行雄)



交通機関

往路 1月12日

- 1. 横浜駅より
 - ① 横浜発(京浜急行+フェリー利用) (¥1,300-)
 6:05(京急) → 京急久里浜下車(連絡バス)久里浜港 7:20 発フェリー → 8:00 金谷港 → 徒歩 10 分 → 8:10 浜金谷駅
 - ② 横浜発(JR 利用) (¥2, 210-) 5:39(エアーポート成田) → 6:51 千葉 6:57(内房線館山行) → 8:21 浜金谷駅
- 2. 東京駅より
 - ① 東京発(京葉線+内房線利用) (¥1,890-) 6:07(京葉線)→6:56 蘇我 7:03(内房線)→8:21 浜金谷駅
 - ② 東京発(総武本線線+内房線利用) (¥1,890-) 6:10(エアーポート成田) → 6:51 千葉 6:57(内房線館山行) → 8:21 浜金谷駅
- 3. 千葉駅より (¥1,110-) 6:57(内房線館山行) → 8:21 浜金谷駅

<u>復路 1月14日</u>

清澄より安房天津駅まで乗合タクシー4人乗2,000円程 安房天津発

- ① 内房線回り(JR 利用) (¥2, 210-) $16:13 \rightarrow 16:18 鴨川 16:20\rightarrow18:54 千葉駅→19:13 東京駅$
- ② 外房線回り(JR 利用) (¥2, 210-) 15:58→18:02 千葉駅 18:12→18:55 東京駅

千葉県連盟は「房総郡界尾根縦走」を応援します。

千葉県連会長 広木 国昭

3日間のロングハイクを安全に楽しんでいただくために、千葉救助隊は コースを下見して、危険個所に虎ロープを設置しました。

しかし、アップダウンの多いロングコースは思ったより疲労がたまります。 トレーニングを積んで万全の体調で参加して下さい。

余裕もって歩いた日は、懇親会も楽しいと思います。

美味しい地元の料理と地酒での歓迎が待っています。翌日に影響のない程度 に楽しんで下さい。 私も参加します。

一人でも入れる山の会 ROUSANパートナーズ



ROUSANパートナーズへの問い合わせは

千葉県連盟ホームページ・事務局への問合わせ 広木まで danphiro@zpost.plala.or.jp まで

ホームページ http://www.yama-tomo.jp にアクセスしてください。

千葉県連でも入会を受付けます。一人で山を楽しんでいる友人・住居近く に山の会のない知人 などに紹介してください。

県連たより

県連盟連絡先

◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所 〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101 号室

TEL·FAX: 043-306-1190

Eメール: <u>rousanchiba@grape.plala.or.jp</u> J R総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分

◎ 千葉県連ホームページ

http://www.cwaf.jp

◎ 「ちばニュース」原稿送付先

newstoukou@cwaf.jp

◎ 事故一報送付先

教遭委員長・岡田 賢一

ken-ichi@f4.dion.ne.jp

Fax:043-271-4704 事故一報は、全国連盟事務局にも必ず 送付の事。

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座 00160-3-481509 千葉県勤労者山岳連盟

◎ 東日本大震災・支援金振込み先

口座番号:ゆうちょ銀行

00130-7-595190

加入者名 佐藤 勝子 〒272-0023

市川市南八幡 1-25-16

☆ 事務局のお手伝いを募集中

事務所の片付け・資料の整理など

一人でもお友達と一緒でも大歓迎です。 連絡は:広木までお願いします。



NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 県連ホームページに 「ちば労ゆう」入会は、ホームページからも入会出来ます。
- ・入会申し込みは

http://www.cwaf.jp/contact/10-2/

- ・「ちば労山ゆう」への問合せは http://www.cwaf.jp/contact/09-3/
- NPO 支援活動日11月23日24日25日12月日日日日
- ・入会情報(10月末)

正会員数 86名 **賛**助会員数 101名 合計 187名

県連会員数の、約24%です。 今年度中に、50%の加入を・・

・入会をお待ちしています。 労山会員以外の方を歓迎 します。友人、知人を紹 介して下さい。

☆☆☆ お願い ☆☆☆ 県連活動は、各会の参加協力が 基本です。会として、一会員とし て出来る事を、出来るだけで結構 です。ちょっと空いた時間で、 県連にご協力をお願いします。

Eメールアドレス danphirp@zpoat. plala. or. jp

千葉県連予定表

11月				12月		
1	木		1	土		
2	金		2	日		
3	土		3	月		
4	日		4	火	県連役員会	
5	月	女性委員会	5	水		
6	火	県連役員会	6	木	自然保護委員会	
7	水		7	金		
8	木	自然保護委員会	8	土		
9	金		9	田		
10	土	事故防止交流集会	10	月		
11	日	(さざんかの家)	11	火	ハイキング委員会	
12	月	-	12	水		
13	火	-	13	木		
14	水		14	金		
15	木	県連理事会	15	土	NPO·支援活動	
16	金		16	日	<i>II</i>	
17	土		17	月	救助隊定例会	
18	日	ワンコイン講習会(船橋中央公民館)	18	火		
19	月	救助隊定例会	19	水		
20	火		20	木	県連理事会	
21	水		21	金		
22	木	拡大検討部会	22	土		
23	金	NPO支援活動	23	日		
24	土	"	24	月		
25	日	"	25	火		
26	月	教育遭難委員会	26	水		
27	火		27	木		
28	水		28	金		
29	木	NPO・石巻支援コンサート	29	土		
30	金		30	日		
			31	月		

発行者 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

発行責任者 吉田 哲治 編集責任者 広木 国昭

TEL·FAX 043-306-1190(事務所には常駐者はいません)

Eメール rousanchiba@grapa.or.jp

問い合わせ 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ